

「アベルコートの歌ができました」

「アベルコート真駒内」の愛唱歌が完成しました。楽しい気分のとき知らず知らずに口ずさんでいるような親しみやすいメロディが特徴です。ご入居者のみなさまにはCDを進呈いたしますので、ぜひご感想をお寄せください。



ふくろうの家 だより

その1
2007年1月

●発行／株式会社私の青い空
●編集／アベルコート真駒内広報室 〒005-0016 札幌市南区真駒内南町4丁目5-2 ☎0120-916-768

「希望の庭—アベルコートの唄—」

作詞：武田 ひろみ
作曲：綾部 潤和

1. アベルのにわに すむとりは
しあわせまもる しろいとり
「おかあさんのぬくもりや
おとうさんのやさしさを
そっとおもいだしてごらん…」
しろいとりは ささやくよ
そして しあわせにとうたうのよ

2. アベルのにわに ふくかぜは
きぼうをはこぶ あおいかぜ
「おねえさんのほほえみや
おにいさんのただしさが
いつもまもってくれたでしょう？」
あおいかぜは つぶやくよ
そして すこやかにといのるのよ



「青い空の下で」

作詞：岸田 典大
作曲：綾部 潤和

青い空の下で ぼくたちは歌うよ
太陽の光浴びながら 声を一つにあわせ
あたりまえのことが 素敵に見えてくる
そんな一日が今日かもね
しあわせに会いに行こう

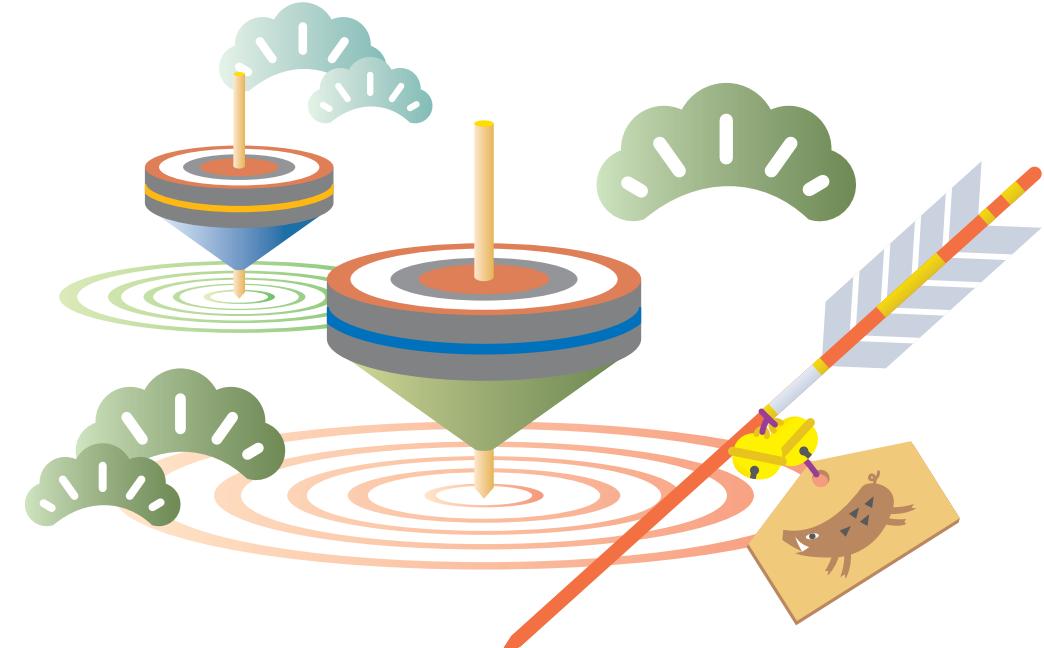
小さな悲しみよ 彼方まで飛んでいけ
ほら ここに芽吹いている 希望の花が育つよ

※涙雨上がれば 太陽は微笑む
どんなときでもぼくたちの上で輝いている

たった一度きりの人生なんだから
楽しく生きていきたいね
それぞれのスピードで

ため息ついても
まあ たまにはいいんじゃない
そしてまた顔を上げて 明日へと進んで行こう

(※繰り返し)



「旅するように暮らしたい」—アベルコート真駒内開設に向けて—

ライフケア（施設長） 武田 ひろみ

一日一日を大切に過ごしていただきたい。そう強く思うようになりました。

その想いから生まれたのが、わたしたちのホームコンセプト「旅するように暮らしたい」です。医療色の強いケア施設の療養生活ではなく、旅先のホテルのドアを開けたときのような爽快感やワクワク感のある暮らしです。高齢者は肯定的な心理状態にあるほど身体的衰えは小さく、幸福感に包まれ、先行きについて樂観的であることが長生きの秘訣ともいわれています。

暮らすことで元気になり、温かいもてなしの心があふれる“家（ホーム）”を、「アベルコート真駒内」に集う方々とともに創り上げていきたいと願っています。その道程を本紙を通してご確認いただければ幸いです。



●介護付有料老人ホーム（一般型特定施設入居者生活介護）

アベルコート真駒内

〒005-0016 札幌市南区真駒内南町4丁目5-2

TEL & FAX 011-375-8606

●地下鉄南北線「真駒内」駅下車

●じょうてつバス「真駒内駅前」停で真駒内線に乗車
(約5分) 「南町4丁目」停下車(徒歩約4分)

<http://www.owlcourt.jp>

「アウルコート
真駒内」で
お待ちしていきます。

離事から離れた旅先でのひととき そんな時間がここにあります

「アルコート真駒内」は、介護付有料老人ホームとしての国の基準を満たした特定施設入居者生活介護施設です。介護や看護のスタッフ、機能訓練指導員などが常駐し、介護が必要になっても使い慣れた居室でそのまま暮らし続けることができます。

現在、まだまだ介護を必要と

しないお元気な方々からも、入居のお問い合わせをいただいている。施設の種別は介護付有料老人ホームでも、「アルコート真駒内」は“老人が最後に行き着く場所”ではなく、“高齢期に安心して齡を重ねられる住まい”。心地よく暮らすための住み替え先なのです。

お風呂やキッチンなどの掃除、

三度三度の食事のしたくと後片付け、除雪といった雑事から解放された暮らしは、旅先のホテルの感覚ではないでしょうか。人生の収穫のときといわれる高齢期の大切な時間を、ご自身の注力したいことに傾けられるよう、わたしたちはきめ細かなサポートやケアに全力を注いでまいります。

**4月のオープンをめざして
工事は順調に進行しています**

昨年6月23日(金)には地鎮祭、12月16日(土)には上棟祭が行われ、冬期間も工事は着々と進行中です。現在、外観工事はほぼ終了し、各階の内装工事に入っています。竣工は2月の予定で、その後はいよいよ本社機能も現地へお引越しです。2月後半には内覧会を予定しており、わ

たしたちの想いが詰まった「ア
ウルコート真駒内」を、多くの
みなさんに見ていただけるの



地鎮祭

が今から楽しみです。内覧会の様子は、次号の『ふくろうの家だより』でご紹介いたします。



上棟祭